

大前 勝弘
Omae Katsuhiko

株式会社 Statistical Solutions 代表取締役

事務所所在地：大阪府茨木市
メールアドレス：k.oma@stasol.jp
WEB: <https://stasol.jp/>

統計科学の博士号を持つデータサイエンス × AI による問題解決の専門家。漠然とした問いを言語化・構造化し、データと AI の力でさまざまな領域の課題を解決することに注力している。

主に大学・研究機関の現場において、研究計画の立案、データ解析、結果の論文化、さらに PoC やアプリ開発など応用・実装までを一貫して支援してきた実績あり。データサイエンスや AI に関する専門知識を、現場で“使える形”に翻訳し、成果につなげるプロジェクト支援に強みを持つ。

掲げるミッションは「データサイエンスと AI で人生の余剰時間を増やす」こと。時間はお金以上に貴重であり、限られた時間の中で最大限の価値を生み出すためには、“考えるべきことに集中できる環境”が不可欠だと考えている。専門知を持つ人こそ、その力を本来発揮すべき場に注げるようにしたい。その思いから、統計や AI をもっと“身近で役立つ道具”として使えるように支援を行っている。

現在は研究支援に加え、生成 AI や RAG（検索拡張生成）などの技術を活用し、「専門知の時短・効率化・再利用」を可能にする仕組みづくりにも取り組んでいる。統計や AI を使った“仕組み化”によって、研究や実務の中にある“ムダ”を減らし、本来集中すべきことに時間とエネルギーを使える環境の構築を支援している。

また、高校生向け数学雑誌や医師向け専門誌への統計コラム執筆、さらには高等学校、病院、研究機関、学会での講演・研修など、対象者を問わず「統計やデータの面白さ・本質」を届ける活動も継続。専門性を閉じたものにせず、多様な現場にひらくことを大切にしている。

研究の現場だけでなく、今後は企業や教育現場など、より多様な分野に専門知の応用を広げていきたいと考えている。専門家がいきいきと社会に溶け込み、貢献できるような環境をつくるサポートも、自身の役割として担っていききたいと考えている。

【講演実績（主要なもの）】

- ・リアルワールドデータベース活用に関する注意点（研究者向け）
- ・キャリアのための Study（高校生向け）
- ・データサイエンス系大学院へのすすめ（大学生向け）
- ・臨床研究セミナー/生物統計学（医療職種向け）
- ・統計専門家の立場から見る研究支援における業務効率化（研究支援者向け）
- ・学会発表多数（研究者向け）

【執筆実績（主要なもの）】

- ・医療診断と数学（高校生向け数学雑誌）
- ・整形外科臨床研究の手引き（医学雑誌）
- ・研究論文（国際学会学術誌）
- ・Web メディア（金融、医療、DX、食品、データサイエンス分野 等）